

## 令和7年度レブンアツモリソウ保護増殖検討会 議事概要

### 1. 概要

(1) 日 時：令和8年3月5日（木）10：00～11：30

(2) 場 所：オンライン

(3) 出席者：

○検討委員

河原孝行座長、幸田泰則委員、八巻一成委員、志村華子委員、綱本良啓委員

○関係行政機関

北海道森林管理局計画保全部計画課

北海道森林管理局宗谷森林管理署

礼文町役場産業課

○オブザーバー

北海道環境生活部自然環境課

礼文しぜん調査

○事務局

北海道地方環境事務所

稚内自然保護官事務所

○受託者

株式会社さっぽろ自然調査館

### 2. 議事概要

以下の議題について、事務局から配布資料に基づいて説明し、議論が行われた。

(1) 各機関からの取組報告について

(2) レブンアツモリソウ第二期ロードマップ公開版について

(3) その他

出席者からの主な意見、質疑等は、次のとおり。

○議題（1）各機関からの取組報告について

（委 員）大備海岸の調査は今年からか。印象として変化はどうか。

→今年から調査区の確認をしているが、大きな変化はないという印象である（礼文町）。

（委 員）生育地全体として同程度の維持がなされ、リスクはなかったという認識でよいか。

→問題があったという認識はない（環境省・林野庁・礼文町）。

○議題（2）レブンアツモリソウ第二期ロードマップ公開版について

（委 員）レブンアツモリソウの説明で、花の色は淡黄色だけでなく白色のものもあるので

修正いただきたい。

→御指摘のとおり修正させていただく（環境省）。

- ・（環境省）第一期ロードマップ公開版では図1として生育地を示したメッシュ図を付けていたが、第二期でも作成した方が良いか御意見をいただきたい。

→公開していくという方針なので、図を出すのがよい。第一期の形では意味がないので、詳しく出してもよい（委員）。

→公開している生育地は掲載しても問題ないということでよい（環境省）。

→公開しているところは問題ない。さらに北と南に生育地が分かれていることが分かればよいのではない（礼文町）。

→公開している生育地と南北の生育を示す形で図を追加させていただく（環境省）。

- （委員）「第一期を踏まえて」とあるが、第二期で方針転換したところ、強調するところなどはあるか。

→大きな方向転換というものはないと思っているが、調査方法や範囲を統一してより正確に経年推移をモニタリングしていくことを考えている。強調するところとしては、野生生物観光に活用していくことなどの利用についても項目を整理して分かりやすく示した（環境省）。

- （委員）非公開部分の議論も踏まえて、今回の案を事務局で修正し、メールベースで委員に確認することとする。

#### ○全体を通しての各委員の所感・意見

- （委員）レブソアツモリソウの個体数は増えているが、脆弱なところはある、絶滅の懸念は変わらないと考えている。

- （委員）地域の高齢化・人口減少と書かれており、保全や監視に関わる若い方、訪れる方の協力も重要と思うが、懸念などはあるか。

→保全に関わる方については、地域内だけでなく外にも広げていく必要があると考えている（環境省）。

→人材の確保については問題の解消は難しく、随時解決していくしかない（礼文町）。

- （委員）理解しやすくするためには、もっと図や表を使って見せ方の工夫があってもよい。課題についてもポイントについて図にしてもよい。

→行政計画という面もあるためこの形を考えているが、啓発については一昨年度作成したリーフレットのようなものも活用していきたい（環境省）。

(委員) 今回のロードマップは一つの種についてのものだが、礼文島全体の植生にいての  
枠組みについて、レブンアツモリソウを一つのシンボルとして位置づけること  
が必要と思う。

(委員) 生物多様性地域戦略との関係が気になっているが、どう位置づけられるのか。

→レブンアツモリソウをシンボリックにしてやっていければという方針である。  
戦略も2期目になっている中で、アクションプランの中で保護増殖事業の継  
続は進めていきつつ、ササの刈り払いによる高山植物群落の再生が保全につ  
ながっていると考えている(礼文町)。